

2026年度研究奨励賞候補者推薦募集のご案内

ごあいさつ

平素は、本法人への格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。本法人は電子科学技術に関する独創的研究開発に対し研究助成を行い、優れた研究業績者を表彰することにより、わが国の科学技術の振興に寄与し、豊かな社会の創造に貢献することを目的としています。

研究奨励賞は、将来の発展が期待される独創的研究に取り組む研究者に研究費を助成し、わが国の電子科学技術の振興並びに産業の発展に寄与することを目的とした賞です。

ここに次頁のとおり、2026年度研究奨励賞候補者募集のご案内をさせていただきます。相応しい方のご推薦を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



理事長 末松 安晴

* 歴代の研究奨励賞受賞者は、ホームページ(URL <https://takayanagi.or.jp>)をご参照願います。 *

“テレビの父”高柳健次郎と高柳健次郎財団

2026年 電子表示100周年



高柳健次郎は1926年、独自に開発した受像用ブラウン管に「イ」の字の受像に成功し、1939年にはNHKで実験放送開始に至った。この業績は後にIEEEマイルストーンに認定される。戦後はテレビジョン同好会(現在の映像情報メディア学会)を創設するなどしてテレビジョンの実用化と発展に努めると共に、VTRの基本技術を発明するなど今日ある映像文化の基盤をつくり、産業界の発展に貢献した。これらの功績により1981年に文化勲章を受章した。

その栄誉に対して「決して私一人の力で成したことではありません」と謙虚に述べ、「初期の研究過程に於いて、研究費が不足して困ったときに助けられた有難さを今も忘れることがない」と感謝している。そして「これまでの多くの方々より受けたご恩に報い、併せてわが国の電子科学技術の振興に些かなりとも寄与したい」と念願して、私財を基に1984年に財団を設立した。



公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ一番町309

TEL 03-3239-1207 FAX 03-3262-3028

E-mail tkinenz@oak.ocn.ne.jp

URL <https://takayanagi.or.jp>



2026年度 高柳健次郎財団 研究奨励賞 候補者募集要項

研究奨励賞は、将来の発展が期待される独創的研究に取り組む研究者に研究費を助成し、わが国 の電子科学技術の振興並びに産業の発展に寄与することを目的とした賞です。

1. 表彰対象

研究奨励賞候補者は、大学等において、電子科学技術およびその応用に取り組み、わが国の科学技術の振興や産業の発展に貢献する研究を行っている、若い35歳以下の研究者を対象とします。

研究奨励賞の副賞としての研究助成金は、初期の研究過程における研究費を助成するため、年間1,000万円以上の助成金を獲得している研究者は対象と致しません。

尚、研究者は博士号を有することが望ましい。

2. 表彰内容

研究奨励賞 3件

将来の発展が期待される独創的な研究テーマに取り組む研究者を、所属や地域に偏ることなく選考し、表彰盾並びに副賞として研究助成金200万円／件を贈呈します。

贈呈後、2029年11月までに、研究成果論文の提出をお願いします。

3. 推薦応募方法

- 推薦書に必要事項をご記入の上、Eメールにて事務局宛てにお送りください。尚、推薦書フォーマットを次ページに記載しています。
- 推薦は、対象者が所属する機関の責任者によるものとし、自己推薦等は受け付けていません。
- ご提出の候補者推薦書は返却いたしません。

4. 募集期間

2026年2月10日～2026年4月10日 期限まで必着でお願いします。

5. 選考方法及び表彰

- 選考は、選考委員会規則及び研究奨励賞選考規程に基づき公正に実施します。
- 選考結果の発表は、理事会決議を経て、2026年12月に推薦者あてに郵送いたします。
- 贈呈式は、2027年1月20日(水)会場 アルカディア市ヶ谷で開催いたします。

6. 問い合わせ先 公益財団法人 高柳健次郎財団 事務局

研究奨励賞 推薦書フォーマット

【A4 縦1枚目】

(1) 推薦者

- ・氏名(ふりがな)
- ・所属機関
名称、職位、所在地、電話番号、E-mail

(2) 候補者

- ・氏名(ふりがな、英文表記)
- ・生年月日、年齢、性別
- ・住所、電話番号
- ・所属機関
名称、部門、職位、学位、所在地、電話番号、E-mail
- ・最終学歴および簡単な職歴

【A4 縦2枚目】10.5 ポイント以上で記入願います。

- (1) 候補者名&候補者の研究課題(英語表記もお願いします)
- (2) 概要(5行以内で、研究の特長を記入してください)
- (3) 研究内容(研究の特長を、図面等を使用して記入願います)
- (4) 将来展開、社会への貢献等を記入願います。

【A4 縦3枚目】

参考資料として、候補者の研究論文等、主な論文・著書等を1枚で記入願います。

(記入例)

- 1) S. Sato and M. Tanaka, "Effects of Image Size on the Color Appearance of Image Reproductions using Calibrated DLP Displays," Journal of the SID, Vol. 14, No. 9, pp. 773-783 (Mar. 2006)
- 2) 田中、佐藤、中田: "液晶ディスプレイに要求される黒レベル," 映像学誌, Vol. 63, No. 3, pp. 330-340 (Dec. 2008)